

すべての方のウェルビーイングの実現を目指して

京都府教育委員会では、すべての子どもに、愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」をもってもらい、それを揺るぐことのない土台として「自己肯定感」をはぐくみ、予測困難な社会においても主体的に学び、考えることができる力や、失敗しても再び挑戦できる強い心を身に付けてほしいと考えています。

そこで南丹教育局では、誰もがよりよい社会と幸福な人生の創り手となれるよう、家庭や地域社会の教育力を高め、子どもとともに「はぐくみ、ともに育ちあう地域社会」を目指す子育て支援ネットワークの拡充に取り組んでいます。



南丹地区 子育て支援協議会



第1回・第2回



- 山下 俊彦 南丹教育局長
- 塚本 綾佳子 学識経験者(保護司)
- 澤井 安子 京丹波町社会教育委員
- 田中 美賀子 NPO法人はぐろボ 代表理事
- 荒木 真 府PTA理事OB
- 小川 博久 亀岡市立図書館長
- 高谷 三恵 亀岡市地域学校保健会養護教員部会部長
- 黒木 仁美 亀岡市公立保育所子育て支援推進協議会長
- 石川 真紀 南丹保健所 福祉課
- 堤 和歌子 南丹保健所 保健課

令和6年度 南丹地区子育て支援協議会 委員

- 平野 清久 川辺おやじの会 会長
- 藪本 好央 南丹市園部町主任児童委員
- 北村 恵里子 南丹公立幼稚園こども園園長 会長
- 山口 桂子 NPO法人 グローアップ 代表
- 小森 誠 京丹波町社会教育指導員
- 榎川 久仁子 京丹波町立丹波ひかり小学校栄養教諭
- 山崎 由樹 京丹波町ファミリー・サポート・センターアドバイザー
- 楢本 純子 南船小学校教頭会 会長

(敬称略)

第1回を4月19日(金)、第2回を5月15日(水)に開催し、フォーラムの運営や分科会の内容について話し合いました。

子育てフォーラム 講演会&分科会

6月23日(日)
会場: 京都医療科学大学



約170名の参加者のもと、フォーラムを開催しました。全体会では、子育てにおける体験活動の大切さや失敗体験の大事さについて学びました。その後、絵本や食育、PTA活動についてなど5つの分科会にわかれて、それぞれ演習を行ったり、協議したりしました。どの分科会でも参加者自身の思いや考えを語る場があり、盛り上がっています。



講演「自立を育む『無人島式』子育てメソッド
～今こそ失敗・協同・役割体験を!～」
NPO法人 生涯学習サポート兵庫
山崎 清治 様



第3回 研修会

令和6年10月3日(木)
園部総合庁舎 新館 ABC

「子どもたちのウェルビーイングのために
～かる～くおしゃべりしましょう～」
南丹地区子育て支援協議会委員
田中 美賀子委員 黒木 仁美委員

第3回は、「子どもたちのウェルビーイングのために～かる～くおしゃべりしましょう～」と題して、子育て支援協議会委員の田中委員、黒木委員より「ウェルビーイング(持続する幸せ)」について学びました。「自分の幸せな時間」についての交流も行い、あたたかな雰囲気の研修会となりました。自主的な研修会として委員の学びを深めています。

第4回 研修会

令和7年1月23日(木)
南丹市園部文化会館
(アスエルそのべ)

『やさしい日本語の基礎』
『やさしい日本語』有志の会 杉本 篤子 様

第4回は、前半、「やさしい日本語の基礎」と題して、「やさしい日本語」有志の会 杉本 篤子 様より、御講演いただきました。今回初めて人権研修と兼ねて開催しました。近年増えつつある外国籍の方々だけでなく、近所の方々と話すときにも意識していくことを学びました。後半は、今年度の取組を振り返り、委員の皆様お一人お一人から話していただき、互いの活動を知るよい機会となりました。



総会&研修

今年度は、「人権を基盤とした、誰ひとり取り残さない地域社会づくり」をテーマに学びを深めました。
6月25日(火)

令和6年度 役員体制

| 役職名 | 氏名 | 所属 |
|----------|------------|------------|
| 役員会 | 会長 | 工藤 和之 亀岡市 |
| | 副会長 | 澤井 安子 京丹波町 |
| 理事 | 小南 仁 南丹市 | |
| | 黒川 孝宏 亀岡市 | |
| | 清水 範子 南丹市 | |
| | 中西 和之 京丹波町 | |
| | 岡島 賢峰 南丹市 | |
| 監事(会計監査) | 小泉 顕雄 南丹市 | |
| | 工藤 和之 亀岡市 | |
| 府理事 | 澤井 安子 京丹波町 | |

(敬称略)

南丹地区 社会教育委員連絡協議会

講演
「誰ひとり取り残さない地域づくりのために
～能登半島地震の現場から学んだこと～」
京都府教育庁 社会教育課
総括社会教育主事 南部 智彦 様



学校が避難所になったと想定して、誰をどの場所に避難してもらうか、運営側の立場で考えました。普段からの地域との関係性が大切との意見が出ました。



グループ協議



研修

南丹市園部文化会館(アスエルそのべ)



講義

南丹市社会福祉協議会より、災害に強い地域社会づくりについてのヒントを講義で学びました。



段ボールベットの紹介



交流



グループ協議

避難所生活で、「子ども達の居場所や役割」を考えておくことも大切です。」「高齢者や障がいのある方の配慮も考えないといけません。」

子育て サポーターズフォーラム

12月5日(木)

会場 京都府立口丹波勤労者福祉会館(クアスポくちたん)

「丹波市の学校を核とした地域づくり」

特定非営利活動法人 丹波ひとまち支援機構(たんえん)

社会教育士 蔦木 伸一郎 様



京都府立口丹波勤労者福祉会館にて、子育てサポーターズフォーラムを開催しました。様々な立場で子育てに関わっていただいている方々約40名の参加があり、「丹波市の学校を核とした地域づくり」と題して、講演とグループワークをお世話になりました。講演では、社会教育士として行っておられることや学校と地域が連携・協働していくために大切なことについて、事例も交えながら教えていただきました。グループワークでは、「子どもたちのために“地域だからこそ”できること」について、グループごとに考えました。具体的に取り組んでいることや取り組めたらいいなと思うことなど様々な考えを付箋に書き、模造紙にまとめていきました。他のグループの考えをじっくりと見る時間も、互いに学び合える貴重な時間となりました。



学校と地域の連携・協働をするために大切にしたいこと

- ①情報共有
- ②話し合いを繰り返すこと
- ③何がよかったかをふりかえる

子どもたちのために、“地域だからこそ”できること

おもしろいアイデアがいっぱい出てきました。



自分がいいなと思った考え(付箋)にシールを貼っていました。

視覚障害者 社会教育指導者研修会

11月5日(火)

会場 南丹市園部海洋センター
体育館

体験から学ぼう!



「愛は勝つ」「負けないで」「見上げてごらん夜の星を」「昴」「赤とんぼ」などの素晴らしい歌声が会場に響きました。生のコーラスの力強さに心打たれました。



参加された方からは、「コロナ禍ではみんなで声を出す活動はできなかった。できて良かった。」という感想をいただきました。

前半は「楽しい合唱!懐かしい歌、童謡・唱歌～みんなで歌おう～」と題して、南丹市で活動されている河鹿合唱団の皆様を講師としてお招きし、歌うことの楽しさや心地よさを体験から学びました。河鹿合唱団の皆様の美しいハーモニーを聴いた後は、参加者の皆さんも昔懐かしい歌と一緒に歌いました。

後半は「『ライフキネティック』で脳と身体を活性化!!」と題してライフキネティック公認パーソナルトレーナー兼チームトレーナーで、明治国際医療大学・明治海洋医学院専門学校 非常勤講師の岩内 和也様をお招きし、ドイツ発祥のニュースポーツであるライフキネティックの体験をしました。ライフキネティックは、簡単な動きの一つ動作を増やしていくことで、脳を活性化させる運動です。認知機能アップに効果的だそうです。



講師の岩内様から、「失敗を楽しむこと、失敗したときこそ脳が活性化されるチャンス!」と教わりました。



視覚障害の方と、ヘルパーさんや行政職員がペアやグループになって体験活動を行いました。

みんなでわいわい楽しんで、声を掛け合いながらボール回しをしています。



人権教育

行政担当者等研究協議会



第1回

5月14日(火)



園部総合庁舎において、各市町の人権教育の担当者が集まり、それぞれの市町で取り組まれている、素晴らしい取組について交流できました。また、今年度の研究協議会のテーマを確認し、年間の研修会の内容についても意見をいただきました。

第2回

9月25日(水)

人権フィールドワーク研修

「全ての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指して、人権ゆかりの地を訪問して研修を深め、人権に関する課題解決の方策について考える機会とする」を趣旨として、毎年人権フィールドワーク研修を実施しています。今年度は1日開催とし、午前中は神戸市長田区周辺へ、午後は人と防災未来センターへ訪れ、学びを深めました。

【研修1】 ふたば学舎・神戸市長田区周辺

内容: 講話「避難所と人権」

講師 語り部ボランティア 佐々木 勉 様
神戸市長田区周辺散策



ふたば学舎では、阪神・淡路大震災時の後、避難所生活と、復興までについて講話を通して学びました。ふたば学舎は、実際に避難所となった施設であり、当時の様子や人と人とのつながりの大切さを改めて感じました。

【研修2】 人と防災未来センター

内容: 館内見学



人と防災未来センターでは、阪神・淡路大震災を追体験するシアターで当日の様子を知ることができました。館内の見学を通して、震災の様々な体験談や当時の資料を見て、震災の記憶を風化させてはいけないと、思いを新たにすることができました。

第3回

研修会

令和7年1月23日(木)

会場 南丹市園部文化会館
(アスエルそのべ)

「やさしい日本語の基礎」



講師 「やさしい日本語」
有志の会
杉本 篤子 様



第3回研究協議会は、「やさしい日本語の基礎」と題して、「やさしい日本語」有志の会 杉本 篤子 様を講師に迎え講演会を実施しました。

「やさしい日本語」は、災害時に外国の方に向けて正しく分かりやすく情報を伝えるために開発されたものですが、この考え方は誰にでも分かりやすいユニバーサルデザインであるということを演習を交えてお話いただきました。

今年度は、講演の後でグループ協議を行い、それぞれが講演会を通して感じたことを話し合い、学び合う機会となりました。

第4回

令和7年3月6日(木)

年度の終わりに、人権教育の担当者が集まり、各市町の今年度の取組と来年度に向けての意見交流を行いました。どの市町でも工夫を凝らした活発な研修等が行われていました。

